

# 総合医療論

## 第1回目 医療における看護



## 総合医療論について

総合医療論は、論者によって多様な解釈がされ、そのカリキュラムも大きく異なっている。

この授業では、講師の医療従事者としての経験を背景に、複雑な医療福祉体系において看護の役割と仕組みを理解しやすいような内容で講義する。

皆さんが専門職としての倫理的概念を習得し、医療や看護に関わる本質的問題に対する自己の考えを深めるよう工夫しようと考えている。

講師 森岡 昭雄  
臨床検査技師 社会福祉士  
介護福祉士 介護支援専門員  
社会福祉学修士

## 当授業の目標

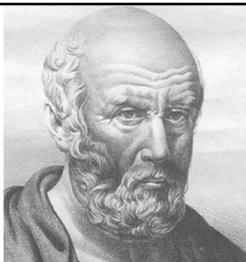
- 1・保健医療福祉体系の中での看護専門職としての役割と機能を理解する。
- 2・医療と看護の質の向上を図るための倫理的な事柄を理解する。
- 3・日本の医療制度・介護制度などの社会学的な基礎を理解する。

## 医学と看護の歴史を 簡単に説明



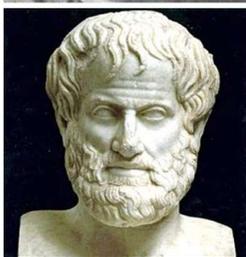
## ヒポクラテス

**B C 400年頃**の古代ギリシアの哲学者（医師）。  
医学を原始的な迷信や呪術から切り離し、臨床と観察を重んじる**経験医学へと発展**させた。  
ヒポクラテスは文書を残していない。すべて弟子たちの記録が残っているのみ。



## アリストテレス

**B C 350年頃**の古代ギリシアの哲学者。  
プラトンの弟子、ソクラテス、プラトンとともに西洋最大の哲学者の一人とされる。  
倫理学、自然科学などを学問として分類し、それらの体系を築いた業績から「万学の祖」とも呼ばれる。  
**動物に関する体系的研究は古代世界で類を見ない。**



## 現在の医療はヒポクラテスがお手本

### ヒポクラテスの教義

- すべてを観察せよ。**  
何事も偶然に任せてはならぬ。
- 病気より病人を見よ。**  
外見、食事、習慣、年齢、言葉、しきたり、沈黙、嗜好等が暗示しているものを見よ。
- 正直に評価せよ。**  
現在、過去、未来を明言できれば信頼を得ることができよう。
- 自然を助けよ。**  
二つの習慣を身に付けよ、助ける事と害を与えないことである。



## ヨーロッパ医学の発展

紀元後の医療は11世紀まで発展は緩慢だった。  
ナポリ南のサレルノ医学校が医師免許を発行。  
12世紀にヨーロッパ各地に医科大学が創設され、医学が発展することとなる。



## 中世の病院

現ロイヤル駐屯隊教会は中世の病院であった。





### フローレンス・ナイチンゲール

(Florence Nightingale, 1820年 - 1910年)

イギリスの看護師、統計学者、看護教育学者。近代看護教育の母。病院建築でも才能を発揮した。

クリミア戦争(1853-56)での負傷兵たちへの献身や統計に基づく医療衛生改革で著名。

国際看護師の日(5月12日)は彼女の誕生日。

ロンドンの聖トーマス病院附属ナイチンゲール看護学校を設立、これは世界初の非宗教系看護学校で、現在はキングス・カレッジ・ロンドンの一部となっている。

ギリシア哲学についても知識が豊富で、オックスフォード大学のプラトン学者とも親しく交流した。

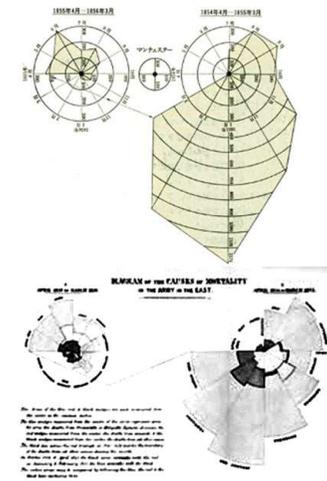
陸軍病院の死亡の多くは戦争受傷ではなく、「**病棟の劣悪な衛生環境にある**」ことを突き止めた。

この事実を様々な集計・統計図にして、現状をイギリス議会に訴え、イギリス陸軍病院の衛生環境が見直され、各病院で改革が進められた。

1860年には集められた基金をもとに、ナイチンゲール看護学校を創設する。

卒業生は世界中に渡り、世界の医療を塗替えて行った。

現在では当たり前となっているナースコール、ナースステーション、病院のパビリオン設計に至るまで、ナイチンゲールが考案したものである。



### パビリオン建築方式

本来は野営のためのテントを指すが、**分棟形式**で建てられた建物の一棟を指す。

建物の配置が蝶のようなのでその形式をパビリオン・タイプと呼ぶ。

また、主屋に対して**付属棟**(翼部)をパビリオンと呼ぶこともある。



### F.ナイチンゲール著 『看護覚え書』 “Notes on Nursing”

「看護とは、新鮮な空気、陽光、暖かさ、清潔さ、静かさ、などを適切に整え、食事内容を適切に選択し適切に与えること。こういったことのすべてを、患者の生命力の消耗を最小にするように整えること」

- I. 病気とは回復過程である
- II. 健康人の看護もほとんど理解されていない

- 1. 換気と保温
- 2. 住居の健康
- 3. 小管理
- 4. 物音
- 5. 変化
- 6. 食事
- 7. 食物の選択
- 8. ベッドと寝具類
- 9. 陽光
- 10. 部屋の清潔
- 11. からだの清潔
- 12. おせっかいな励ましと忠告
- 13. 病人の観察

## 14. 要約

- (1) 女性の無謀な素人(しろうと)療法。
- (2) 医学がなしうることと、自然がなしうること
- (3) 良い看護師を育てられない原因

## 15. 補章

1. 看護師とは何か
2. 回復期
3. 「ひ弱な」子供たちをも救う
4. 小説のなかの誤り
5. 床塗りの方法
6. 女性の雇用に関する覚え書
7. 看護師として雇用されている女性の数に関する覚え書

## 16. (付録) 赤ん坊の世話

・進歩していないときは、退歩しているのよ。  
だから、目標を高く掲げなさい。

・天使って、美しい花をまき散らしてなくて、  
苦悩する人のために戦う存在なのよね。

・人生を生きるには、もっと修練が必要よ。

・看護を行う私たちって、「人間とは何か」、「人はいかに生きるか」を  
いつも問い正して研鑽を積んでいく必要があるの。

・愛ってね、人の過ちや意見の対立を許してあげられる存在なの。

・恐れを抱いた心では、ほんとうに小さなことしかできないわよ。

・私は、すべての病院がなくなることを望んでいるの。



● 私は、すべての病院がなくなることを望んでいるの。

## ナイチンゲールの解釈(おそらく)

健康ってさ、平和な世界で「人のあるべき姿」であり、基本なわけ。だから、そんな平和で健康的な社会から見れば、「不健康な象徴が病院」だって誰もが考えると思うんだよね。

## 現代の医療はどうよ

病院の拡大や収益を望む医師や政治家ばかりよね。

私が生きていたら、病院なんか必要のない社会にしてみせるわ。

100年前にナイチンゲールは、「看護は新しく生まれた芸術であり科学である」と明言しました。

看護が芸術であるとは、看護師の手によって創られる技術は、一回限り、一人ひとりに適したものであるという意味なのです。

一回限りのその人にあつた優れた技術を生み出すためには、その陰で何百回、何千回という基礎的な技術訓練が必要とされます。

そこに看護師養成の中で今後培うべき大事な事柄が見えてきます。そしてもう一点、看護は優れた科学でもあります。

看護実践には必ず何らかの根拠が存在します。

看護師の思いや感情だけでは仕事は成り立ちません。

いつでも自らのうちに「なぜ?」「だから・・・」を繰り返し問いかけ、形にしていきます。看護の面白さは、こんなところに存在するのです。

看護師の手によって創られる技術は、一回限り、一人ひとりに適したものである。



**公平性**  
平等とはちがう！



## 専門職としての医療従事者

生命や健康、人々の生活の質に深く関与する医療従事者は、社会から期待されている役割を果たす為にも、生涯を通して学習し、能力を開発していく責務があるといえる。

そして、医療の質を高めるには、個人の専門職として自分が何をすべきか、どうあるべきかといった意識が常に必要となる。

### 医療従事者の特徴的な要素

- (1) 人間が対象
- (2) 受け手の価値観
- (3) 臨床現場の不確実性

## 医療従事者の特徴的な要素

### (1) 人間が対象

患者は健康な人間とは違った特徴をもつ

### (2) 受け手の価値観

患者や家族の価値観が尊重されなければならない

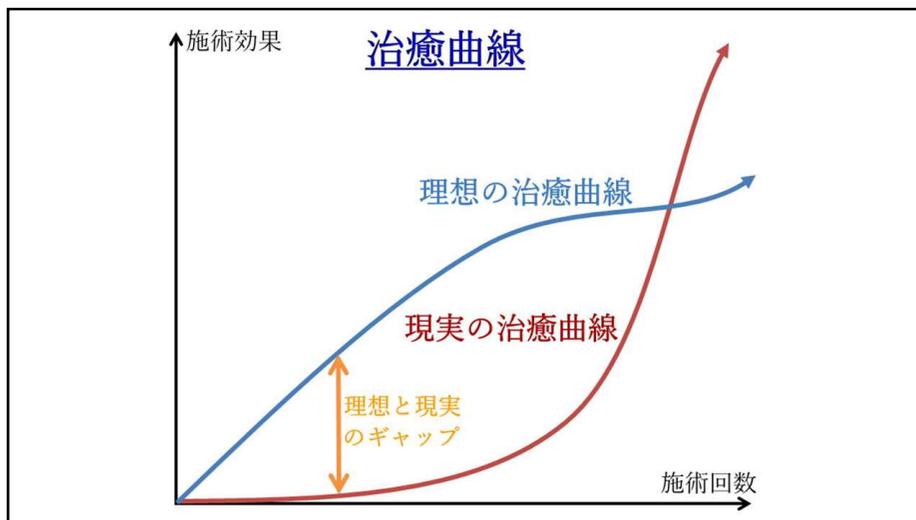
### (3) 臨床現場の不確実性

臨床現場で遭遇する事象は多種多様であり、限定された時間や状況下で合理的で迅速な決断をしなければならないときがある

## 病気の経過と患者の心理状態

- 発病初期** 確定診断をされるまで不安がいっぱい。  
病気に対する心理的動揺が最も大きい時期。  
医師に聞かず、看護師に聞いてその態度を観察する。
- 療養期** 診断が確定し、治療に専念する時期。  
病気に対する心理的動揺はあまりない。  
自己中心性が強くなり、治療経過を気にする。  
猜疑心も生まれ、攻撃的な性格になるのもこの時期。
- 回復期** 症状の回復もあり、精神的に安定する。  
社会復帰等に対する不安がある。  
治療中の依存・劣等感から抑うつ状態となる。

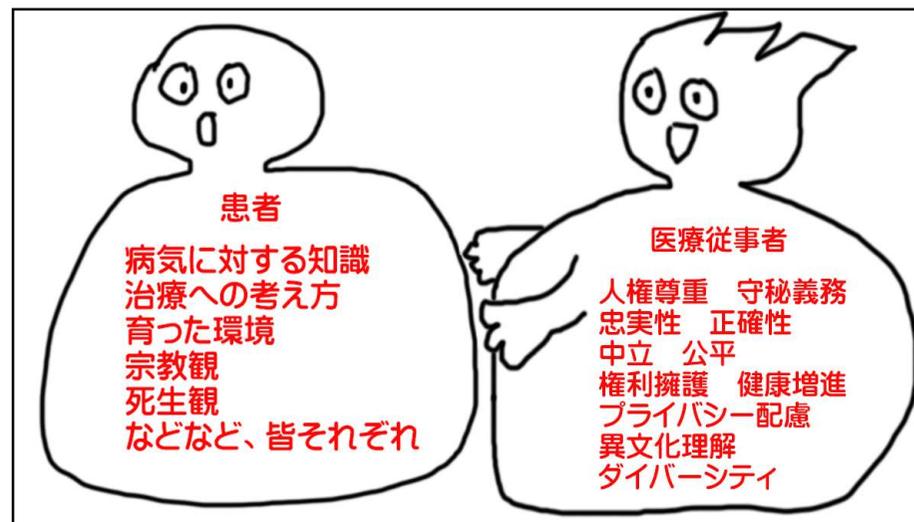




### 入院患者の心理的特徴

心気傾向	気持ちが萎える状態。不安の増強。
自己中心性	病気のこと頭がいっぱい・他人にかまっていられない。
依存性	自立心・独立心はあるが、依存せざるを得ない気分となり、病気が治っても他人に依存し、社会復帰しなくなる。
被暗示性	宗教に凝ったり、他人の言う事を簡単に信じる。
猜疑心	軽い言葉に絶望的な意味をみつけてパニックになる 医師の診断治療を信じない。検査が間違っていると主張。 患者に不快感を与えない言葉の使用が必要 ・頑固だ → 粘り強いね    ・根暗だ → 冷静沉着ですわ ・神経質 → 注意深い    ・臆病だ → 慎重だね ・気分屋 → 天真爛漫
劣等感	健康者に対する劣等感をもつ。
攻撃性	理性により攻撃性を抑えているが、疾患が抑制力を低くする。

- ### 医療従事者の特徴的な要素
- (1) 人間が対象  
患者は健康な人間とは違った特徴をもつ
  - (2) 受け手の価値観  
患者や家族の価値観が尊重されなければならない
  - (3) 臨床現場の不確実性  
臨床現場で遭遇する事象は多種多様であり、限定された時間や状況下で合理的で迅速な決断をしなければならないときがある



## 医療従事者の特徴的な要素

### (1) 人間が対象

患者は健康な人間とは違った特徴をもつ

### (2) 受け手の価値観

患者や家族の価値観が尊重されなければならない

### (3) 臨床現場の不確実性

臨床現場で遭遇する事象は多種多様であり、  
限定された時間や状況下で合理的で迅速な決断を  
しなければならないときがある

少ない情報で、正確に状況を判断してみよう。

二人の男性が会話をしている。

男性 A:「うちの娘は男ですよ。」

男性 B:「そうですか、うちの娘は前は男だったんですが、  
今回は女です。」



## パターナリズムに負けるな

医療現場においては、「医者と患者の権力関係」がパターナリズムであると、1970年代初頭に医療社会学者のエリオット・フリードソンによって指摘された。

パターナリズムとは、強い立場にある者が弱い立場の者の**意志に反して**、弱い者の利益になると言って、行動を支配したり、干渉したりすることである。日本では父権主義ともいう。

「患者のためになる」という医師による勝手な判断での処置でトラブルが起こる場合が多い。

## 群馬大学附属病院 腹腔鏡手術事件

2010年からの5年間で第二外科で行われた腹腔鏡手術において、術後相次いで8人の患者が死亡していた。

8人を執刀したのは同じ医師で、全員術後4カ月迄に死亡した。同大学病院は最終調査報告において、全事例で医師の過失があったと認めた。大学病院は特定機能病院指定を取消された。

その後の読売新聞の調査は、2007年からの死亡者は30名を超え、この医師が「不誠実な説明で患者を手術に誘い込み、自らの技量試しや功名を立てる機会にしようとしていた」と記された。

この医師は大学病院での収入が低いため、担当患者の急変時でも民間病院で高額アルバイトに精を出していた。

## 看護での大切なこと

- ①患者に理解しやすく説明をする
- ②患者が選択しやすく、考える時間を与える
- ③自律性を尊重した看護を行う

このためには医療従事者と患者間のコミュニケーションが重要。患者の思いを理解し、納得して治療が進められるようにする。

パターンリズムに陥らないために、信頼関係を築き患者にとってのQOLをいかに充実したものにしていけるかを念頭に看護をしていくことが大切。

## 次回予告

## 看護領域の特徴

